

教職員の皆様へ

教育センターだより【1号】

令和6年4月15日 発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

教育支援センター(さくら教室) 2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0595-64-8802

事務室・教育よろず相談 1F

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

学校ボランティア室 1F

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.lg.jp

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

教育センターホームページ QRコード



学校・家庭・地域をつなぐ拠点として

春の風が心地よく、色とりどりの花が心を和ませてくれます。新年度がスタートしました。

本年度も、教育センターは、教職員の皆さんにとって、より身近な教育機関として、ご利用いただけるよう、研修講座や研究の場を提供してまいります。また、教育よろず相談を窓口として、学校が抱える多様な課題に初期段階から適切に対応ができるよう、学校支援を行ってまいります。その他には、学校・保護者・児童生徒を支援する、発達支援教室、週末教育事業、出前支援、読書活動の推進、家庭教育への支援、学習支援事業、なばり学教室等、様々な事業を展開してまいります。



何か新しいことを学んでみたい、困った時や悩んだ時、ぜひ教育センターをご利用ください。職員一同、精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

教育センターだよりはホームページでもご覧いただけます。なお小中学校教職員はインフォメーション、ロイロノート等でもご覧いただけます。

—教育センターをご活用ください—

研修講座 先生方のお役に立てる研修講座を、今年度も夏季休業中を中心に計画しております。後日、日程等をお知らせしますので、是非ご活用ください。

図書資料室 教育センターには、授業づくりや教材研究に役立つ参考図書を多数用意しています。また、研究授業や研修講座のDVDも保管しています。名張市で採択されている教科書やそれ以外の教科書も置いてあります。気軽にお越しいただき活用してください。(詳細は、裏面へ記載)

自主研修講座 自主研修への支援として行っている「自主研修講座」は、今年度下記の5つを予定しています。関心のある内容や現在直面している課題等があればぜひご参加ください。また、開設を希望する講座がありましたら申し出ください。

ケースカンファレンス(年間5回程度)

通級指導(年間3回程度)

ICT活用(年間3回程度)

シンキングツール(年間2回程度)

若手教員のつどい(年間3回程度)



教育資料ポータル 職員用全体フォルダ内の教育センターに教育資料ポータルがあります。グループ研究部会の資料、ふるさと学習「なばり学」の資料や映像等を保存してあります。今年度も中身を充実させていく予定ですのでご活用ください。

※職員用全体フォルダにある「教育資料ポータルへのショートカット」をコピーしてお使いください。



教育資料ポータルの
トップページ

教材研究や学級経営、校内研修の内容に困った時や講師(校内研修)をお探しの際にもお手伝いさせていただきますので気軽にお電話下さい。

学校ボランティア室

学校ボランティア室では、3名のチーフコーディネーターを配置し、「地域とともにある学校づくり及び子どもを核とした地域づくりへの体制構築」に取り組んでいます。各校にて学校生活支援ボランティアさんの登録を進めていただくとともに、学校ボランティア室においても市民の方へ募集を集めています。その他、学校生活支援ボランティアやふるさと学習「なばり学」に係るご相談等、ご連絡ください。

【問い合わせ】学校ボランティア室

月曜日～金曜日 10時00分～17時00分

TEL: 64-8864 FAX: 64-8802

教育よろず相談

学校現場におけるいじめをはじめとする様々な問題や教育に関する悩みについては「教育よろず相談」をご活用ください。教育専門相談員や臨床心理士が相談に応じます。

電話相談 TEL: 64-8801

月曜日～金曜日: 8時30分～17時15分

来室相談 教育センター2階 相談室

月曜日～金曜日: 9時00分～17時00分(要予約)

臨床心理士による相談(教職員対象メンタルヘルスを含む)

金曜日: 13時00分～18時00分(要予約)



令和6年度プロジェクト研究員 募集

今年度プロジェクト研究として、「特別な支援を要する児童生徒の支援に向けたICT機器の活用」について研究を行います。特別な支援を要する児童生徒は年々増加しています。そこで、授業のユニバーサルデザイン化を通して、全ての児童生徒が意欲的に学習するためにどのような方策が有効か、児童生徒が主体的に思考するために有効なICT機器の活用方法の研究を進めます。

(4/11付文書にて市内小中学校に研究員の募集案内を送付しました)

テーマ 特別な支援を要する児童生徒の支援にむけたICTの活用
～授業のユニバーサルデザイン化を通して～

募集人数 6名程度



教育センター 図書紹介

研修講座「国語」講師 森川正樹著
『作文指導アイデア』(明治図書)

その他おすすめ図書

令和6年度教育センター研修講座講師 著書

教育講演会 講師 小野田正利著
『「迷惑施設」としての学校近隣トラブル解決の処方箋』
(時事通信社)
『保護者のお悩み解決します!』(東洋館出版)
くまゆうこ×小野田正利×鬼澤秀昌

『発達が気になる子の「できた!」を引き出す教師の言葉かけ』(学陽書房) 佐藤義竹著
『13歳からのアンガーマネジメント』(合同出版) 松井晴香著
『さる先生のCanvaの教科書』(学陽書房) 坂本良晶著
『1年目なのに、学級担任が驚くほどうまくいく本。』(学陽書房) 中嶋郁雄著
『新卒時代を乗り切る!教師1年目の教科書』(学陽書房) 野中信行著
『最新教育動向2024』(明治図書) 教育の未来を研究する会編者



書籍を借りたい方は、教育センター事務所に声をおかけください。
(貸出冊数: 1人3冊まで、貸出期間: 2週間)